

寄宿舍建築における空間単位の配列とその差異化表現からみる生活空間の共同性

Communality of Living Space in Dormitory Architecture
from the viewpoint of spatial units arrangement and their formal appearance

奥山研究室 19M50427 西宮 航平 (NISHINOMIYA, Kohei)

1. 序

学校や企業などの社会集団に属する人々が共同生活をおくる寄宿舍建築に対して、建築家は社会状況の変化と共に様々な提案を行ってきた。例えば1950年代から70年代では、個室群から分離した大空間の共用部に集団での活動が集約されているのに対して、80年代以降では、同じ大空間の共用部でも個人の様々な活動を許容する設えの提案がなされている。さらに近年では、これらの対比的な提案からの更なる展開がみられる。こうした提案の内容とその変遷についての検討は、今後の社会における集まって住むことへの建築デザインの可能性を考察する上で、重要な視座を与えるものである。そこで本研究では寄宿舍建築の空間単位の配列とその差異化表現を併せて検討することで、建築家による生活空間の共同性の創出手法の一部を明らかにすることを目的とする。

2. 寄宿舍建築における空間単位の配列

寄宿舍建築の空間を構成する最小単位である個室や共用部のLDK、水回りといった空間単位¹⁾と建物全体のあいだには、図1の分析例のように、かたちによる空間単位のまとまり(空間単位群)を見出すことができる。本章では、寄宿舍建築における個室と共用部の関係を、空間単位のまとまり方とそれらの動線の関係からなる階層構造として捉える。

2-1 空間単位の種類と空間単位群

まず空間単位の種類を内部空間と建築化された外部に大別し、内部についてはその用途の違いから個室、共用部における活動用途、動線用途、衛生用途の4つで捉えた。²⁾次に平面、断面の空間的に明確な外形によって規定される複数の空間単位のまとまりを空間単位群として抽出し(図3)、空間単位の組み合わせによってそれらの内容を整理した(図4)。空間単位の組み合わせを個室を含むか否かで大別し、さらに個室を含む空間単位群については、個室群のみ、個室と動線用途、個室と活動用途、個室と動線用途、建築化された外部の組み合わせによるまとまりの4つに整理した。

2-2. 空間単位の配列

共用部のうち活動用途を含む空間単位は、居住者間の主要な共同生活の場であると考えられる。そこで各資料において活動用途を含む空間単位があるか否かとその数について整理した(図5)。次に活動用途と個室の関係を検討するために、個室を含む空間単位群³⁾から活動用途を含む空間単位群に至る動線関係を示す配列図を作成した(図6)。さらに作成した配列図を元に、個室から活動用途を含む空間単位までの階層数、個室を含む空間単位群の内容、個室から活動用途までの経路の3点から8つの空間配列のパターンを位置付けた⁴⁾(表1)。

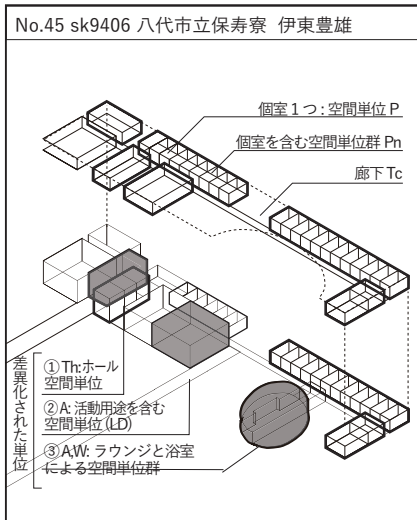
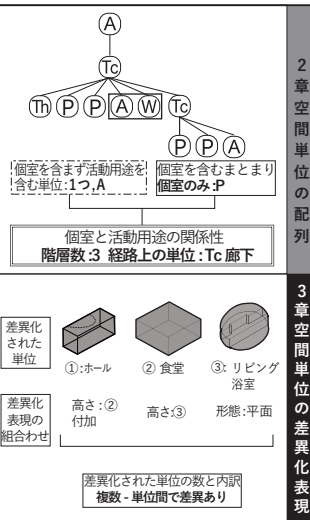


図1: 分析例



個室	内部			建築化された外部E	モデル図の表記方法 (Tc) (P) (A)
	活動用途 A	動線用途 T	衛生用途 W		
P	LDK ラウンジ 和室 etc	ホール 廊下 階段室	Th Tc Ts	WC, 浴室	テラス 囲まれた外部

図2: 空間単位の種類

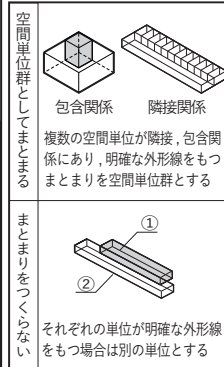


図3: 空間単位のまとまり方の基準

個室を含む単位群	個室のみ P	(P _n)
個室 + 動線用途	PTc	(Tc)(P _n)
個室 + 外部 + 動線用途	PTcE	(E)(Tc)(P _n)
個室 + 活動用途	PA	(A)(P _n)
個室を含まない単位群	(Tc)(Ts) (A)(A)(Ts) など	

図4: 空間単位群を構成する空間単位の組合せ

個室を含む空間単位群の他に			活動用途もたない
活動用途(A)(A○)をもつ			
単数	複数		7
	2つ	3つ以上	
56	10	4	

図5: 活動用途を含む空間単位の有無の数

全体の大きな傾向としては、階層数が3以上のパターンを半数の割合を占め、個室を含む空間単位群と直接動線的関係をもつ階層数0と1のパターンA,Bは全体の2割程度であった。このことから寄宿舍建築では、個室を含む空間単位群を物理的に分離させ、個人のプライバシーを前提とした表現に偏りがみられ、一方で個室と活動用途を含む空間単位群が動線的接続関係をもつものは、あまり数がみられない。

また各パターンの特徴について整理をすると、パターンAは階層数が0の資料群で、個室と活動用途による空間単位群を構成し、かつその他に活動用途が存在しないものである。パターンBは階層数が1の資料群である。これらの多くは、個室と廊下を含む空間単位群が活動用途を含む空間単位に対して動線的に直接接続する。パターンC、D1、D2は階層数が2の資料群である。Cは、個室を含む空間単位群内、または1次の経路の空間単位の内容が動線用途以外のものでD1とD2は個室と廊下が空間単位群を構成する点は同じだが、D1は1次の経路の内容が階段または廊下でD2はホールである。パターンEとF1、F2は階層が3以上の資料群である。EはCと同様に、個室を含む空間単位群内、または1次の経路の空間単位が動線用途以外のものである。またF1、F2はD1、D2と同様に1次の経路の内容によって整理されている。

3. 寄宿舍建築における空間単位の差異化表現

空間単位の中には、天井の高さや特徴的な形態により、他の空間単位との差異が視覚的に表現されているのがみられる。こうした空間単位の差異化表現は、共同生活を営む空間を象徴的に表現するものと考えられる。そこで空間単位の差異化表現を〈形態〉と〈高さ〉に整理した(図7)。また、差異化表現を伴う空間単位にはそれらに付加された要素として〈トップライト〉もみられたため、これについても整理した。

さらに空間単位ごとの差異化表現を、それぞれの表現の組み合わせによって3つの形式に整理し、それぞれに〈トップライト〉の有無を検討した(図8)。また差異化された空間単位の種類を、活動用途か否かで大別した(図9)。さらに各資料における差異化された空間単位の数を検討し、図10に示した。

次に差異化表現の組合せと空間単位の種類の対応関係について資料ごとに検討した(図11)。その結果、差異化表現を伴うものでは、いずれの組合せにおいても活動用途が多くみられた。

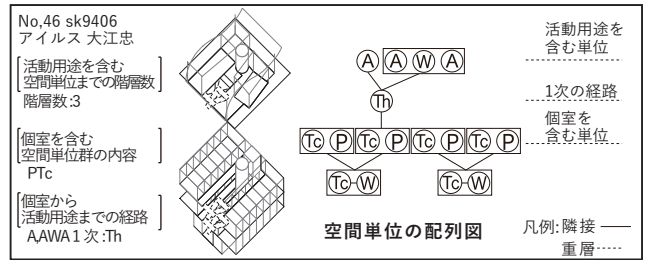


図6: 空間単位の配列図の作成

表1: 空間単位の配列パターン

No.	作品名	階層数	個室を含むまとまり	個室から活動用途までの経路			活動用途の数	注: 個室含む空間単位までの階層数、個室を含む空間単位群の内容、個室から活動用途までの経路は図24の内容に準ずる
				1次	2次	3次		
空間単位の配列パターン								
A								
70	上智大学アルベ国際学生寮	0	PA				0	
74	アビリアアビリア 宝池寮 楓	0	PA				0	
72	PU環太平洋大学 学生寮	0	PA				0	
42	再春館製薬女子寮	0	PA				0	
69	流通科学大学 学生寮	0	PA				0	
40	押切の社員寮	0	PA				0	
59	登別のグループホーム	0	PA				0	
65	山崎学院大学国際307学生寮	1	PA				2	
67	東京工業大学緑が丘ハウス	1	PA				2	
60	フィレンディールな女子寮	1	PTc				1	
24	やまぼと成人寮	1	PTc				1	
36	岩田学園 学生寮	1	PTc				1	
53	YKK黒部姫切寮	1	PTc				1	
31	ELEVEE	1	PTc				3	
55	茨城県立盲学校寄宿舍	1	PTc				2	
71	YGU HOUSE	1	PTc				3	
57	NANA	1	PTc				1	
73	toberu	1	PTcE				1	
76	まちのような国際学生寮	2	PTc	A			1	
64	ISAK	2	PTc	A			0	
48	ヤクルト本社 八王子寮	2	P	E			1	
19	日本建機伊丹寮	2	PTc	E			1	
54	熊本県立農業大学校学生寮	2	PTcE	Tc			1	
50	クラブファンク志茂	2	PTcE	Tc			1	
44	郵船網島寮	2	PTcE	Tc			1	
12	植野製薬大森寮	2	PTcE	Th			1	
45	八代市立保寿寮	2	P	Tc			1	
56	瀬田高槻寮	2	PTc	Tc			1	
16	大日本インキ化学工業KK高光寮	2	PTc	Ts			1	
66	国際石油開発帝石直江津東寮	2	PTc	Ts			1	
39	東急電鉄上野毛徳島寮・子寮	2	PTc	Ts			1	
46	アイルス	2	PTc	Th			2	
2	ABC職員宿舎	2	PTc	Th			1	
26	大宮青葉市場社員寮	2	PTc	Th			1	
37	豊島通寮	2	PTc	Th			2	
30	初ミッドフェイス 富士見独身寮	2	PTc	Th			3	
33	YEW健保倶楽部	2	PTc	Th			1	
51	参天製薬 シンダーハウス	2	PTc	Th			2	
4	ローコストの学生寮	2	PTc	Th			1	
32	下関病院海浜寮	2	PTc	Th			3	
63	早稲田大学中野国際女子寮	3	PTc	A	Tc		3	
77	中央ライオン小倉井	3	PTc	A	E		1	
75	深江竹友寮	3	PA	C	Th		1	
22	自治医科大学 学生寮	3	PA	Ts	Tc	Tc	2	
10	立正大学 寄宿舍	3	PA	TcE	Ts		1	
47	YKK徳島寮	3	PTcE	Tc	E		1	
7	N.H.K波泉寮	3	PTcE	Tc	Tc		1	
68	早稲田大学本庄高等学院 袴寮	3	PTcE	Tc	Tc		1	
43	打出竹友寮	3	PTcE	Tc	Th		1	
49	竹中土木瀬戸竹鏡寮	3	PTcE	Th	Ts	Th	1	
58	伊達の援護寮	3	PTc	Tc	Tc		2	
14	千葉興業銀行独身寮	3	P	Tc	Ts		1	
15	第一生命八幡山独身寮	3	PTc	Tc	Ts	Tc	1	
1	千秋ヶ谷竹友寮	3	PTc	Tc	Ts	Th	1	
8	日本バルブ本社 独身寮	3	PTc	Tc	Ts	Th	1	
34	日中友好会館	3	PTc	Tc	Ts	1Ts	1	
52	YKK黒部寮	3	P	Tc	Th		2	
21	マリアン・ハウス	3	PTc	Tc	TcE		1	
5	大正海上火災下馬寮	3	PTc	Tc	Tc		1	
18	リコー時計・恵那独身寮	3	PTc	Ts	Tc		1	
10	椎の木のある独身寮	3	PTc	Ts	Tc		1	
6	七十七銀行独身寮	3	PTc	Ts	Tc		1	
11	JAL 雲谷独身寮	3	PTc	Ts	Tc		1	
17	養生堂浦和寮	3	PTc	Ts	Tc		1	
3	栄独身寮	3	PTc	Ts	Th		1	
13	大磯独身寮	3	PTc	Ts	Th		1	
9	佐友商社駐独身寮	3	PTc	Ts	Th	Tc	1	
29	田之畑中学校 寄宿舍	3	PTc	Th	Tc		1	
61	駿河台大学 学生寮	3	PTc	Th	Tc		1	
41	Y's COURT NAKAHARA	3	PTc	Th	Ts	Th	1	
35	国立音楽大学銀杏寮	3	PTc	Th	Ts		1	
38	風の門 YKK市川寮	3	PTc	Th	Ts	Th	1	
25	国際女子研修センター	3	P	Th	Th		1	
23	プラザのある独身寮	3	P	Th	Th		2	
28	昭和女子大学東明学林	3	PTc	Th	Th	Ts	1	
27	富士急行東京営業所	3	P	Th	E		1	
62	月島荘	3	PTc	Th	E		2	
F2								
No.41 Y's COURT NAKAHARA 10								

5. 結

以上、寄宿舍建築を対象に空間単位の配列とその差異化表現の関係およびそれらの通時的傾向から、生活空間の共同性を検討した。その結果、明確な差異化表現を用いた共用部と個室群を分離する表現、逆に差異化がなされない共用部と個室群を直接動線の関係をもたせる表現、廊下に限らず、個室群と中庭を隣接させた配列をもつ表現の傾向の3つの大きな傾向を捉えた。これは、かつて住宅供給の側面をも担っていた寄宿舍建築に対して、建築家は個人のプライバシーを前提とした共同生活を創出していたが、70年代以降では、特徴的な空間表現を用いることで、そこに住まう集団の象徴性を示そう

という構想が考えられる。また近年では、個室群と共用部の関係をより直接関係づける空間表現として構想している。これは、東日本大震災やシェアハウスの流行などから、「集まって住まう」ことに対して、社会が肯定的になったことから生じていると推測できる。

- 註1) 寄宿舍建築において最小単位である空間単位は、床、天井、壁によって囲まれ、形状の差異で規定される領域的なまとまりとする。
 註2) 洗面、浴室、便所の一連の水回りは1つの空間単位とし、管理部門や倉庫などの二次的な機能をもつ空間単位は分析の対象外とする。
 註3) 個室を含む空間単位群と活動用途を含む空間単位の配列関係を検討する際に、複数の活動用途を含む空間単位がみられる場合は、原則最大の気積をもち、LDKの機能を持つ単位の経路について検討するものとする。
 註4) 表1に入力されている空間単位の内容はいずれも群をなしていないものだが、群をなしている場合でも、複数の空間単位をまとめるなど、主と考えられる空間単位以外は省略して表記することとする。
 註5) 図10以降で空間単位の差異が複数の空間単位でなされている場合は、最大の面積をもつ単位の差異の内容を重要視して、検討に用いる。
 註6) 図13の凡例は、図7,8,9の内容に準ずるものとする。

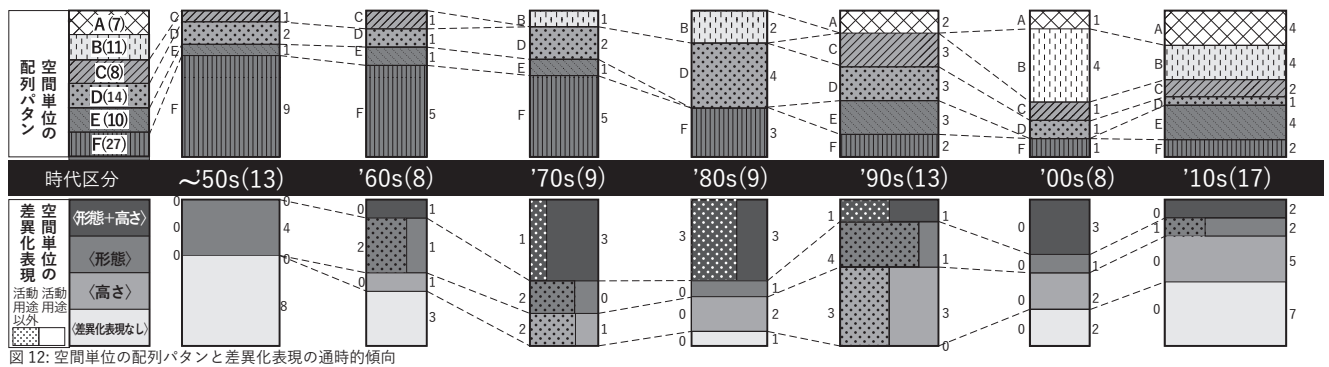


図12: 空間単位の配列パターンと差異化表現の通時的傾向

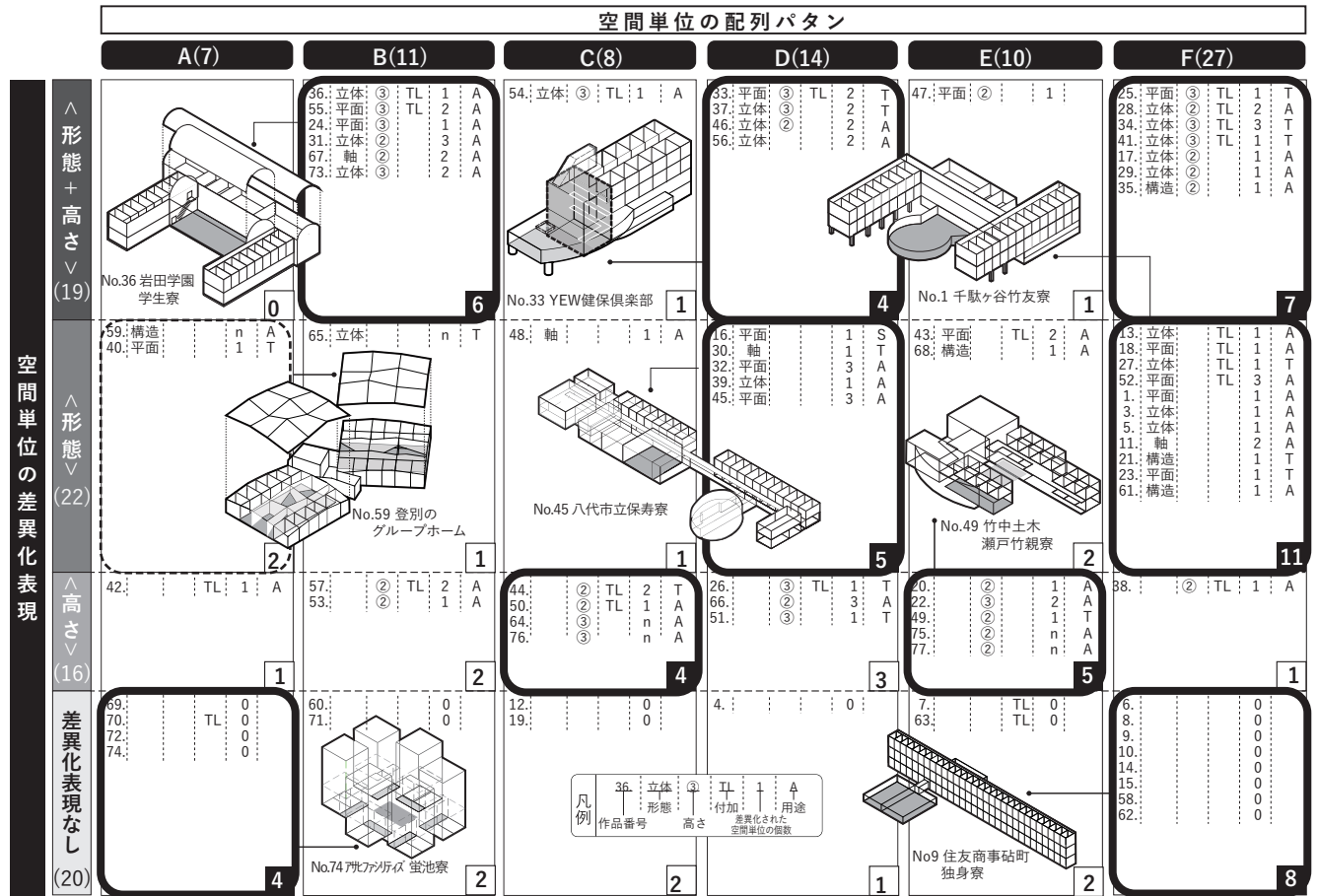


図4-3: 空間単位の配列パターンと差異化表現の関係